

◎午後の部

4つの企画の中から、選んだ企画に参加してもらいます。

目的： **午前の部とは違う** ERにつながる力や体験をするため。 時間：1時間

企画：「みんなでディスカッション」、「グループ統合ディベート」、
「物語裁判」、「ワークショップ」

1.企画の説明

①みんなでディスカッション（体育館）

目的：学年、クラスの枠を超えた話し合いで、今まで触れてこなかった新たな視点に気づくため。

具体的な内容：

- ・3学年混合6人グループを作り、話し合ってもらいます。
- ・同じ視点のグループと話す時間、異なる視点のグループと話す時間を設け、多角的・多面的な視点で話し合ってもらいます。

1・2年生のみなさんへ

みんなでディスカッション!
~いろいろな視点に出会える時間~

たくさんの人と話して新しい視点を見つけよう!

他のクラス・学年の人とも話せるよ!

ちょっとのぞいてみませんか?

イベントの魅力!

- 1 いろいろな人と話せる!
→ 多くの人と関わることで、視野が広がる!
- 2 同じ視点の人と話して
→ その意見の妥当性を高められる!
- 3 違う視点の人と話して
→ 新しい考え方や視点に出会える!
- 4 最後に自分のグループへ戻って
→ 意見を深められる!
- 5 三角ロジック/対話型論証モデルで
→ 話し合いを整理できる!

三角ロジックとは?

自分たちの意見を「主張・理由・具体例」で整理してまとめるから、考えがスッキリ!

主張(結論) ↔ 理由付け(事例) ↔ 事実(根拠)

88人数の目安
88 **240人**くらい

時間
約**1時間**
(だいたいの目安です!)

こんな人におすすめ!

- ✓ いろいろな人と話してみたい!
- ✓ 深い議論をしてみたい!
- ✓ 自分の意見をもっと深めたい!
- ✓ 新しい考え方に会いたい!

ゆさゆさタイム

悪魔のささやきが途中で聞こえるかも...!

ちょっと進んでみたくなるかも...?

テーマ
これから先の人生に関わるテーマです!

少しでも興味があれば、ぜひ来てください!!

②グループ統合ディベート（3-A教室・3-B教室）

目的：異なる立場から考え、**根拠をもって伝える**力を高めるため。

具体的な内容：

- ・ **身近な社会問題について**、賛成・反対に分かれ、作戦会議・質疑・反論・最終弁論を行い、議論を交わします。
- ・ 賛成・反対の陣営の中でも、4つのグループに分かれ、**より活発な作戦会議をし、より根拠や説得力のある主張**を作ります。



流れ

4分:質疑①
⇒相手陣営に対して、どのグループからでも、質問を行うことができる。
⇒質疑に対しての答えは、答えられるグループが答えていく。
4分:質疑②
7分:作戦会議②
⇒作戦会議①と同じ方法。
4分:反駁①
⇒グループ1から、作戦会議でまとめた内容を踏まえて行う。
⇒答えることができるのはグループ1のみ。
4分:反駁②
4分:最終弁論①
⇒グループ1が行う。
4分:最終弁論②
1分:審査員・司会者ジャッジ準備
1分:審査員・司会者ジャッジ
3分:司会者・審査員からのディベートのまとめ

グループ分け

グループ1：相手陣営のグループ1と話し合う。（すべての役割○）
グループ2：陣営全体に、議題に関する情報を伝達する。（質○・反○）
グループ3：相手陣営の反論や立論を整理して、陣営全体に伝える。（質反○）
グループ4：司会者からの意見を取り入れ、議論に反映させる。（質反○）
グループ1⇒8人 グループ2⇒8人 グループ3⇒7人 グループ4⇒7人

テーマについて

身近でだれでも考えやすいテーマにします。

③物語裁判（多目的室・アートスタジオ1）

目的：証言や事実をもとに、**多角的に考え、説得力のある主張を作る**ため。

具体的な内容：

- ・ **弁護士・検察・裁判官**になり、被告人役・被害者遺族役などから証言を取ります。
- ・ **集めた証言の多角的な分析をもとに**作戦を立て、裁判でそれぞれの立場から主張・反論をします。

3年生のみなさんへ

物語裁判!

ぜひ参加してみませんか!

村を荒らし、人々を脅かす鬼を退治するのは正義だ!

対話もせず『悪』と決めつけ、命を奪うことに本当に正当性はあるのか!?

- 1 誰もが知る昔話や物語の事件を題材に
- 2 参加者が検察・弁護・裁判員に分かれる
- 3 議論を交わす体験型企画
- 4 多角的な視点で「当たり前」を考え直す
- 5 協力して最高の物語裁判を作る

多角的に捉える「当たり前」を疑う視点を引き出す午後の部注目のプログラムです!

実行委員と一緒に、誰も見たことがない最高の物語裁判を作りましょう!

少しでも興味があれば、ぜひ来てください!!

ER成果発表会実行委員会

④ワークショップ（3-C教室・3-D教室・3-E教室）

「好き」「興味」を問いに 3C

専門家とつながる 3D

つくる 3E

目的：3年生の探究経験を、1・2年生のこれからの探究につなげるため。

具体的な内容：

- ・3年生が、1・2年生に問いの立て方や探究の進め方、行き詰まったときの工夫などをレクチャーし、一緒に考えます。
- ・ワークショップによっては、体験型活動でよりリアルな学びを得ることができます。



